



－ 特集 －

1 頁：「石川の教育振興について」

石川県教育委員会 教育長 塩田 憲司 氏

2・3頁：「第4期石川の教育振興基本計画について」

石川県教育委員会事務局教育政策課 前 教育振興推進室長 北島 公之 氏

4・5頁：第51回全国高等学校総合文化祭（2027いしかわ総文）の開催に向けて

石川県教育委員会教育次長（全国高等学校総合文化祭開催推進室長） 岡橋 勇侍 氏

「石川の教育振興について」

石川県教育委員会 教育長 塩田 憲司



このたびの令和8年熊本地震により、亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

教育長に就任して、早くも4か月余が経過いたしました。

私は昭和59年に県立高校の教諭として採用され、それから長い間、教育現場で教鞭をとり、その後は教育委員会事務局において教育行政に携わってまいりました。

その間に、新型コロナウイルス感染症の拡大、さらには令和6年能登半島地震・奥能登豪雨という未曾有の災害に見舞われながらも、教育委員会の職員、そして学校現場の先生方が、子どもたちの学びを決して止めまいと懸命に努力する姿を間近で見てまいりました。その献身に、私は深く心を動かされるとともに、大きな心強さを覚えました。

教育長として、今後でもできる限り多くの学校に足を運び、それぞれの学校での取組をしっかりと支えてまいりたいと考えています。

しかしながら、被災からの復旧・復興は、なお道半ばにあることに加え、学校現場を取り巻く、児童生徒の多様化・教職員の多忙化などの教育課題への対応も待ったなしの状況です。

こうした学校が抱える様々な課題に対応するため、今年の3月に、本県教育の指針となる「第4期 石川の教育振興基本計画」を策定いたしました。

本計画では、第1期から掲げてきた基本理念「未来を拓く心豊かな人づくり」、そして四つの「めざす人間像」を、本県教育の根幹をなす方針として継承しつつ、新たな柱の一つに、能登半島地震・奥能登豪雨からの復旧・復興に向けた、「災害の教訓を生かした創造的復興教育の推進」を掲げました。

具体的な取組として、ふるさと教育については、創造的復興をテーマとした活動を、すべての県立高校で展開しており、甚大な被害を受けた奥能登地域の五つの高校には「復興探究コーディネーター」を配置し、復興に向けた課題解決に向けた探究活動を進めております。

今年度は、防災に取り組む県外の生徒とともに、防災

や創造的復興のあり方を考えるシンポジウムを開催するなど、防災意識の一層の醸成を図ってまいります。

また、能登半島地震の際に、他県より、災害時の学校運営に精通した教職員チームの派遣をいただき、避難所となった学校の運営など多くの支援をいただきました。

本県においても、今後の災害発生時の備えとして、県内外の被災した学校を支援することを目的とした災害時学校支援チーム「D-E S T いしかわ」を今年の秋に発足させることとしており、現在、支援チームに志願していただいた約100名の教職員に養成研修を行っているところです。

人口減少が進んでいる奥能登の5つの県立高校については、それぞれの学校の魅力を高めるため、先ほど触れた復興探究コーディネーターの配置、遠隔授業の試行のほか、昨年10月には、「奥能登県立高校魅力化検討ワーキンググループ」を設置し、更なる取組の検討を行っております。

教職員の多忙化については、今年3月に令和12年3月までに時間外在校等時間の月平均を30時間以内にす

るなどの目標を定めた実施計画を策定しました。具体的には、国が指針で示した学校と教師の業務の3分類に基づき、例えば、「学校以外が担うべき業務」として、部活動指導員の配置や地域展開による部活動指導の負担軽減、「教師以外が積極的に参画すべき業務」として、スクールカウンセラーやスクール・サポート・スタッフ等の外部人材の配置、「教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務」として、採点省力化ソフトなどのICT化による校務の効率化、などを実施し、今後とも教職員の多忙化改善の取組を着実に進めてまいります。

県立高校の魅力化については、先般、国の「産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革推進事業の採択結果」に基づき、小松工業高校、金沢桜丘高校、奥能登県立5校が新たに拠点校として採択されました。

それぞれの拠点校の取組で得られた成果を今後、他の高校にも波及させていくとともに、高校教育改革の実現に向けた「高等学校教育改革実行計画」を今年度中に策定し、本県の高校教育改革の更なる推進を図っていく予定です。

こうした様々な取組を通じて、ふるさとに誇りを持ち、復興に貢献できる人材育成に取り組んでまいります。

「第4期石川の教育振興基本計画について」

石川県教育委員会事務局教育政策課

前 教育振興推進室長 北島 公之



はじめに

本県では、教育の振興に関する基本的な計画を定めることとした教育基本法の改正を踏まえ、平成23年1月に第1期の教育振興基本計画を策定し、以降、教育を取り巻く諸情勢の変化に対応するため、5年ごとに計画の見直しを行いながら、様々な教育施策に取り組んできました。

しかし、近年は、少子高齢化や人口減少に加え、グローバル化の進展、AIやIoTをはじめとする先端技術の高度化など、社会全体が急速に変化するとともに、教育の現場では、いじめや不登校、特別な支援が必要な児童生徒や外国人児童生徒への対応のほか、教職員の多忙化など、多くの課題を抱えています。

加えて、本県では、令和6年に発生した能登半島地震、奥能登豪雨という大規模災害からの復旧・復興が求められています。

こうした様々な課題に対応していくため、計画内容を見直し、令和8年3月に「第4期石川の教育振興基本計画」を策定しました。

本計画は、基本理念である「未来を拓く心豊かな人づくり」や「めざす人間像」といった基本的な考え方は継承しつつ、第3期計画策定以降の状況の変化を踏まえ、本県教育の目指す姿や施策の方向性を示したものであり、県政運営の基本計画である「石川県成長戦略」や能登半島地震からの創造的復興の実現に向けた「石川県創造的復興プラン」等との整合性を図りつつ、策定作業を行ってまいりました。

策定ポイント1 創造的復興教育

今回、基本目標として新たに「災害の教訓を生かした創造的復興教育の推進（基本目標1）」を設定しました。未曾有の災害を経験した本県において、元々あった課題を踏まえつつ未来志向に立

ち、前よりも良い状態へと高めていく「創造的復興」を受け、復興を担う人材の育成に取り組んでいこうとの思いが反映されています。

具体的には、小・中・高校の各段階で創造的復興教育に取り組むほか、地元の教育関係者や産業界、有識者によるワーキンググループを設置し、奥能登高校魅力化に向けた具体の議論を進めていきます。さらには教育施設の早期復旧や文化財レスキューなどを進めるとともに、被災した児童生徒の心のケアを継続的に行っていくこととしています。



震災遺構フィールドワーク（總持寺）

策定ポイント2 多様な教育ニーズへの対応

今回新たに設定した基本目標がもう一つあります。「誰一人取り残されない多様な教育ニーズへの対応の推進（基本目標5）」です。これまでも本県では取り組んできたところではありますが、近年では多様な子供の状況に応じた支援の必要性がさらに高まっており、今回、基本目標として位置づけ、施策の充実を図ったものです。

例えば、全ての公立小中高等学校に「校内教育支援センター」を配置し、落ち着いた学習空間を確保することで、不登校傾向の子供たちの教室復帰を支援するとともに、自宅や別室と教室をオンラインでつなぎ、授業や学級の様子を視聴できるようにします。また、全日制高校と特別支援学校の双方の子供たちが交流するインクルーシブ教育の環境整備を進めるほか、地域住民との交流にも取り組むこととしています。

さらに、小中学校に設置されている日本語指導教室における指導を充実させることや高校に支援員を派遣し、生徒・保護者に対する母語での支援に取り組むことに加えて、昨年4月に開校した北

陸初の県立夜間中学において、様々な事情で義務教育を十分に受けられなかった方々への教育の機会の確保に努めています。



策定ポイント3 国の法律等により追加した施策

第3期計画の策定以降に国が策定した法律等に基づき、新たに追加した施策があります。

一つ目は「学校における情報化」についてです。例えば「教育DXの推進」として、インターネットやデジタル教材を用いて、児童生徒の個々の理解や関心に応じた個別最適な学びの実現に取り組むとこととしています。



1人1台端末を用いた授業（小学校）

二つ目は「主体的に社会の形成に参画する態度を育む教育」についてです。国が策定した子ども基本法の趣旨を踏まえ、例えば、学校行事の運営や校則など、学校のルール作りに子供たちが主体的に関わるような体制づくりを目指すこととしています。

三つ目は「豊かな心を育む読書活動」についてです。令和5年に国が策定した読書活動に関する計画に基づき、乳幼児期から読書に親しめるよう、読み聞かせや家読（うちどく）など家庭での読書を習慣づけ、不読率の低減を目指すとともに、図書館のデジタル化、ネットワーク化を促進していきます。

策定ポイント4 今日的課題を踏まえ、内容を深化させた施策

現在の教育を取り巻く大きな課題として、一つ目に「学校における働き方改革」があります。本県においても、これまでも教員の多忙改善に向けた取組を進めており、時間外勤務時間が減少するなどの成果が確実に現れてきていますが、依然として、多忙な勤務状況は続いているところです。

令和7年9月に、国から、学校の働き方改革に関する新たな指針が出されました。指針の中では、教員以外が担うべき業務を明確化し、長時間労働の解消を進めることが述べられており、本県においても、教育に関わる全ての者の総力を結集して取り組んでいく必要があります。

例えば、学校と教師の業務の3分類を踏まえた業務の見直しを徹底し、スクールロイヤーやICT支援員など外部人材の活用を一層進めるとともに、国が示す方向性に従って、部活動の地域展開の実現や地域クラブ活動の推進を目指します。



業務改善取組事例集

二つ目は「高等学校教育改革の推進」です。2040年には、少子高齢化、生産年齢人口の減少、地方の過疎化が一層深刻化することが見込まれており、また、2040年就業構造推計（経産省）によると、AI・DX人材5.5万人が、理工系専門職3万人が不足するとの指摘がなされています。

そこで、高等学校の特色化・魅力化の取組を推進するため、国のグランドデザインを踏まえた「高等学校教育改革実行計画」を策定するとともに、国の交付金を活用し、取組を先導する拠点校を設け、その成果を他校へ普及させていきます。

終わりに

今回の計画策定にあたって、県内の児童生徒を対象として、本県教育に係るアンケート（回答数約4万件）やラウンドテーブルによる対面での聴取（14校、約100名）を実施しました。特に、アンケートについては、小学校では県内全児童数の57.5%、中学校では県内全生徒数の56.5%、高校等では31.4%という、非常に多くの回答をいただきました。この場を借りて感謝申し上げます。回答結果については資料編に掲載するとともに、頂いたコメントを抜粋し、計画本文の中で「子供の意見」として記載しました。併せてご覧いただければ幸いです。

今後は、本計画の実現に向け、皆様と足並みを揃えながら各施策を着実に推進してまいります。



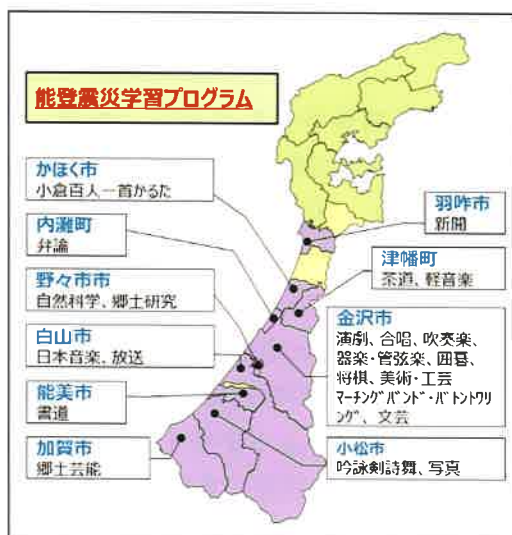
第51回全国高等学校総合文化祭 (2027いしかわ総文)の開催に向けて

石川県教育委員会教育次長（全国高等学校総合文化祭開催推進室長） 岡橋 勇侍



47年ぶりの開催！ 『文化部のインターハイ』

令和9年夏、第51回全国高等学校総合文化祭が本県で開催されます。この大会は、「文化部のインターハイ」とも呼ばれる、高校生による国内最大規模の芸術文化の祭典です。本県での開催は、昭和55年の第4回大会以来、実に47年ぶり2回目となります。



【開催地マップ】

大会の愛称は「^{にーまるにーなな}2027いしかわ総文」です。令和9年7月31日から6日間にわたり演劇や合唱、美術・工芸、茶道など全22部門の発表や競技が、県内10市町の会場で行われます。

大会期間中は、全国から約2万人の高校生が来県し、熱意あふれるステージや日本一を目指す真剣な競技、優れた作品の展示など、日ごろの芸術文化活動の成果を生かした多彩な催しが繰り広げられます。

また、韓国、オーストラリア、シンガポールの高校生を招いた国際交流事業に加え、大会の大きな特色として、能登の復興に学ぶ「能登震災学習プログラム」を実施します。

はけろ創造いざ
彩れ未来百万石の地へ

【大会テーマ（内容・毛筆表現は高校生による公募作品）】

石川県は、古くから受け継がれてきた伝統文化と、豊かな自然が調和し、人のあたたかさが息づいている県です。この地を舞台に、高校生たちが新しい文化を創り出し、未来を彩ってほしいとの思いを込めて、大会テーマを「はじける創造 彩れ未来 いざ百万石の地へ」と決めました。

なお、「いしかわ総文」のさまざまな取り組みは、県内の高校生で構成される生徒実行委員会が中心となって企画・運営しています。生徒たちは、意見を出し合い、創意工夫を重ねながら、大会の成功に向けて積極的に活動しています。



彩る・もてなす・結ぶ！ 『高校生がつくる文化の祭典』

大会の基本方針は「彩る」「もてなす」「結ぶ」の3つです。石川の伝統工芸品に施される金箔や五彩のように、多彩な個性が輝く「彩る」。奥能登の「あえのこと」に見られる、感謝の心で訪れる人を迎える「もてなす」。手取川の名の由来にも通じる、人と人の絆を深める「結ぶ」。この三つの理念のもと、石川ならではの魅力あふれる大会を目指しています。



【大会の三つの理念】

大会のマスコットキャラクターは、県内高校生からの公募により決定しました。名前は「つづみ丸」。加賀百万石の時代から金沢駅にタイムスリップし、鼓門を「履いちゃった」というユニークな誕生秘話を持っています。自分のことを「つづみ」と呼び、語尾に「ぶし」を付けて話す、元気で好奇心旺盛な人気者です。



【大会マスコットキャラクター「つづみ丸」】

また、大会イメージソングは、県内の高校生が作詞・作曲を手がけたオリジナル曲です。石川の豊か

な自然や文化への思い、そして全国の仲間とともに歩いていく未来への願いが込められています。本年3月には、県内10校の合唱部と金沢桜丘高校吹奏楽部が一堂に会し、レコーディングを行いました。伸びやかな歌声と力強い演奏が重なり合い、心を打つ一曲が完成しました。このイメージソングは「2027いしかわ総文」公式Webサイトで公開していますのでぜひお聴きください。

さらに、おもてなしについては、現在、お弁当業者の助言をいただきながら、地元の食材や次期開催県である山口県などの料理を取り入れた、3種類の「おもてなし弁当」の開発に取り組んでいます。

「石川に 輝（きらり）と光る みんなのわ」というコンセプトのもと、“和”の心で全国から集う高校生の皆さんをお迎えし、人と人とのつながりが“輪”となって、笑顔が広がっていくようおもてなしに努めます。



開催気運の醸成！『PR活動』

大会に向けた気運を高めていくため、開催3年前にあたる令和6年度から、さまざまなPR活動に取り組んでいます。

令和6年10月にイオンモール白山で開催した「1000日前PRイベント」では、ハンドベル演奏などのステージ



【500日前PRイベント(書道パフォーマンス)】

発表に加え、小倉百人一首かるたや科学実験など、多彩な文化体験を行い、来場者に楽しんでいただきました。

続いて本年3月には、金沢駅もてなしドームおよび地下広場において「500日前PRイベント」を開催し、吹奏楽や合唱、書道パフォーマンスや手話パ



【水引体験で総文をPR(しいのき緑地にて)】

門などの優秀作品を展示しました。当日は、「つづみ丸」の着ぐるみの初披露もあり、多くの来場者にぎ

わいました。今年度は、

大会の1年前や200日前の節目にカウントダウンイベントを開催し、県内の工業高校などが制作するカウントダウンボードの除幕式を行います。また、「つづみ丸」の各種イベントへの出演なども計画しています。

これからも、高校文化部の祭典にふさわしい、楽しく親しみやすいPR活動を展開していきますので、どうぞご期待ください。



大会の見どころ！『① 開会行事』

大会初日となる令和9年7月31日（土）には開会行事として、いしかわ総合スポーツセンターで「総合開会式」、西部緑地公園で「パレード」を実施します。

総合開会式は、第一部「式典」、第二部「交歓会」、第三部「開催地発表」の三部構成となっています。

第一部の式典では、全国の代表生徒が、雨の多い石川にちなみ「傘」を手に入場するなど、石川らしさを表現します。

第二部の交歓会では、山口県の生徒とともに、事前に撮影した名所の映像を表示しながら、クイズ形式で両県の魅力を紹介し、会場を盛り上げます。

第三部の開催地発表では、生徒実行委員会が考えた脚本をもとに、出演者やスタッフ、そして各文化部の生徒たちが力を合わせ、石川の文化にちなんだ舞台をつくり上げます。

また、パレードは、「彩る・もてなす・結ぶ つながる思い 歩き出す 石川 ～Let'sらしさ～」をテーマに掲げ、運営をはじめ、会場を彩る装飾やオープニングアクトなど、出演生徒、観覧者ともに楽しんでいただけるよう、工夫を重ねています。



大会の見どころ！

『② 能登震災学習プログラム』

令和6年1月1日の能登半島地震から2年半あまり、同年9月の奥能登豪雨から1年10か月あまりが経過する中、地域の住民や地元の高校生たちは、多くの方々の温かい支援を受けながら、「創造的復興」を着実に前進させています。

「能登震災学習プログラム」では、全国から来県する高校生を対象として、能登地域を巡るバスツアーを実施し、現在の能登の姿や復興の様子を実際に見て感じていただくことで、防災・減災への意識をさらに高めていただきたいと考えています。

石川の地から全国へ、そして未来へ。高校生たちの情熱が大きく羽ばたく大会となるよう、生徒実行委員会や文化部の生徒たちが心をつなげて、準備を進めています。

◆第39回いしかわ県民陶芸展 アマチュア作品大募集!!

☆☆応募資格拡大!☆☆

石川県にお住まいの方に加え
県内に通勤・通学する方ならどなたでも応募できます!
(ただし、専門的な指導者を除く)

★作品募集★

作品規定 ・未発表の自作品(1人1作品のみ)
・一辺が50cm以内、縦横高さの合計が120cm以内
・団体作品は、展示時に90cm×90cmの範囲内

受付日時 令和9年1月16日(土) 10:00~15:00

受付場所 石川県文教会館 4階和室

出品料 一般:2,000円、青少年(大学生以下):無料

★作品展示★

展示期間 令和9年1月24日(日)~1月31日(日)

9:00~16:30(最終日は15:00まで)

展示会場 石川県文教会館 4階和室(※入場無料)



第38回いしかわ県民陶芸大賞(石川県知事賞)

正来 治定 瑠璃釉五角花入『一の糸』

令和8年度「文教国際理解講座」のご案内

~ネイティブスピーカーによる異文化理解講座です~

講座名	内 容	曜日	講座時間
英米文化 初級	挨拶程度の会話をしよう (英検3級程度)	火 木	午前 午前・午後
英米文化 準中級	英語で簡単な会話ができるように (英検準2級程度)	水 木	午前・午後 午前
英米文化 中級	英語で日常の会話ができるように (英検2級程度)	火 木	午前 午後
英米文化 上級	日本語同様に会話ができるように (英検準1級程度)	火	午後

★講座時間(100分)

(午前) 10:00~11:40

(午後) 18:30~20:10

実施期間: ~令和9年2月

対 象: 学生(高校生)から一般まで

定 員: 1講座20名程度

受講料: 途中入会は、入会後の
回数分(教材は実費負担)

例: 24,720円

(9月以降の24回分)



★どの講座も

定員に空きがある場合は、

途中入会できますので

お問い合わせください

令和8年度「教育文化研究会」のご案内

~アジア・日本の文化に触れてみませんか~

	研究会名	定員	年会費	内 容	日 時
I	もっと知りたいアジア	10名	3,000円 全6回	アジア文化圏の地理、歴史、時事問題に関心を寄せ、ときにはビーズやアジア料理などもたのしむ	奇数月第2土曜日 14:00~16:00
II	源氏物語を楽しむ	10名	6,000円 全12回	『源氏物語』の原文をはじめ、さまざまな文献にあたり古典の奥深さを味わう	第2土曜日 10:00~12:00
III	茶道入門教室	10名	11,000円 全22回	初心者のための茶道入門~お茶のいただき方、お点前の基本や茶席での所作を学ぶ~(流派:表千家)	第1・3月曜日 12:00~16:00

令和8年度 教育史セミナー 開催のご案内



「教育資料の可能性を探る」～ 福井県教育博物館の試み～

日 時：11月5日（木） 14:30～16:00

講 師：吉田 智（よしだ さとし）氏

福井県教育博物館 運営アドバイザー

前館長で、教育博物館創立の際の準備室長

会 場：石川県文教会館 大会議室（401・402会議室）

内 容：福井県教育博物館は、県内の学校に残されてきた教育資料を収集・保存し、その活用を図るために旧春江工業高校校舎に整備された施設です。整備計画から現在に至る約10年の教育博物館の取り組みをふり振り返り、展示や企画展等で活用してきた教育資料がもつ価値をあらためて探るとともに、教育資料の新たな活用の可能性について考察します。

令和8年度 教育資料収集整理事業

当財団では、県内に存在する貴重な教育資料を収集し、保管や展示を行っています。これらの教育資料は当館で閲覧することができます。（要予約）



教育資料収集整理事業「教育資料ロビー展」のご案内

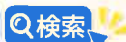
1Fロビーにて開催中

「特色ある学校の活動」として、県内にある学校の取り組みの様子を順次展示・紹介しています。

現在どの学校が展示されているかはホームページでご確認ください。

You Tubeでの発信も行っていますので、是非ご覧ください！！

教育資料ロビー展



☆企画展「高等学校・特別支援学校の教育活動の紹介」を県庁19Fで実施します（7/28～8/10）

最新版の学校要覧も展示、配布します！

令和8年度 文教アートウェイブ

～演劇・演奏会・リサイタル等にご利用ください～

文教アートウェイブとは、地域文化の振興を図ることを目的に、地域で活躍する芸術文化団体に舞台発表の場を提供する文教会館事業です。今年も感動のひとつときをお届けします。

《今後の公演予定》

★公演の日程等が変更になる場合があります。

金沢高等学校吹奏楽部 定期演奏会

◆入場無料

8月11日（火・祝）

13:30～（開場13:00）

金沢桜丘高等学校吹奏楽部 クリスマスコンサート2026

◆入場無料

12月13日（日）

17:30～（開場17:00）



令和9年度の文教アートウェイブ公演募集!!

地域文化の振興を図ることを目的に演劇や演奏会等の公演を希望される方に利用料と冷暖房費を無料でホールをお使いいただけます。（照明設備費・舞台技術費等有料）

実施時期：令和9年度中で、原則として9月から12月を除きます。

＊但し、実施予定日の6か月前までにホールの予約が入っていない場合は除外日でも申し込みをすることができます。

申込期間：令和8年5月1日（金）～令和9年1月31日（日）

申込方法：※詳しくは文教会館HPで確認いただくか、お電話でお問い合わせください。TEL(076-262-7311)

文教会館の施設ご利用について ～教育文化の発信に 研修・会議・交流の場に～



◎ホール590席

◎ピアノは、
ヤマハ・スタインウェイを
ご用意しております（有料）

少人数の打ち合わせから研修・講演会まで様々な用途やご利用人数に合わせた会議室をご用意しています。
また、和室、茶室、応接室などもどなたでもご利用いただけます。

備品の貸出（有料・無料）・Wi-Fi（無料：一部非対応の会議室あり）も有ります。
お気軽にお問い合わせ下さい。



☕ 喫茶コーナー『エース』よりお知らせ

（営業）平日 10:00～15:00

～会議室をご利用の場合～

飲み物を **5杯以上**の注文で、
1杯**200円**で提供させていただきます。（土日祝日を除く）
ぜひご活用ください。



カレーライスセット
食後のコーヒー付き



MENU

【軽食】

トースト	250円
カレー（ライス・うどん）	420円
ピラフ（エビ・五目）	420円
パスタ（ナポリタン・ミートソース）	420円

ケーキ 440円

【飲み物】

コーヒー（ホット・アイス）	330円
紅茶（ホット）	330円
オレンジジュース	330円

【セット】

軽食と飲み物セット 700円

（※価格はすべて税込です）

都心の教育文化のオアシス「文教会館」をぜひご利用ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。